

# よつ & WALK

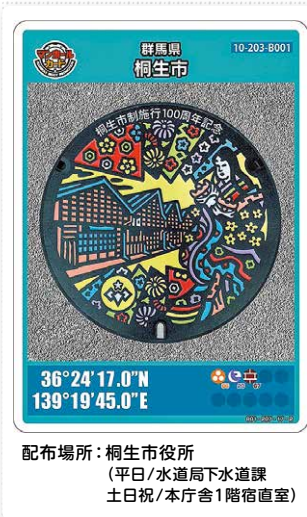
in 桐生市

— マンホールカードで巡る群馬の旅③ —



桐生のノコギリ屋根

## 桐生織物の今にふれる



ほべたんがやって来たのは、三方を赤城山と足尾の山々に囲まれる桐生市。足元のマンホールには、白滝姫、ノコギリ屋根、かさね色目の意匠が、艶やかな色づかいで描かれています。織物の技をこの地に伝えた姫の伝説や、色を重ねて生まれる着物の美——京都西陣と並び栄えた織物のまちの物語が広がります。

土蔵や町家が残る通りを歩いていると、ふと現れるギザギザの屋根。ノコギリ屋根の織物工場です。光を取り入れるためのつくりで、明治から昭和初期に多く建てられました。ベーカリーやワインセラーに姿を変えた建物もあれば、今も織機を動かし続ける工場もあります。

そのひとつが1953年創業の井清織物。4代目夫婦が手がけるブランド「OLN(オールン)」は、今では数少ない旧式のジャカード織機を使い、暮らしたに寄り添う織物を生み出しています。ほべたんは工房併設のショップへ。ガシヤン、



ガシヤンと織機の音が響くなか、帯をはじめストールやバッグ、ふきん、コースターなどが並びます。織りの凹凸から生まれるジャカード織ならではの豊かな表情と、使い心地のよさが魅力です。

創業145年。織物から刺繍、さらにアクセサリーへと進化を重ねる工場も。訪れたのは、刺繍メーカー・笠盛が手がけるブランド「OOO(トリプル・オウ)」のファクトリーショップ。刺繍でつくられた繊細なイヤリングやブローチに、ほべたんも目を輝かせます。真珠のようなネックレスも、実は糸でできたもの。刺繍で球体をつくるという発想から誕生しました。



OOO(トリプル・オウ)のアクセサリー

「ここにあるものは地元の職人と一緒につくっているんです。アクセサリーを通して、職人の仕事や産地の魅力を伝えられたら」(笠盛・野村さん)

ノコギリ屋根の工房を巡ったあとは、ひと風呂。レトロな街並みに溶けこむ「一の湯」は、明治期に織物工場で働く人たちのために開かれた銭湯。2018年に一度幕を閉じるも、桐生に魅せられた移住者の手でよみがえりました。薪で焚いたやわらかな湯に、歩き疲れた体もゆるみます。



ほべたん、一の湯へ!



OOO(トリプル・オウ) ファクトリーショップ  
住所: 桐生市三吉町1-3-3  
TEL: 0277-44-3353  
営業日: HP参照(000-triple.com)

OLN(オールン) ショップ  
住所: 桐生市境野町6-344  
TEL: 0277-44-3568  
営業日: 平日・第一土曜  
営業時間: 13:00~17:00

## 編集だより

おいしそうな店構えに惹かれてこちらへ。栗のような形の「栗まんじゅう」と、卵入り生地「カステラまんじゅう」を店頭で焼いています。香ばしく焼き上げた薄めの生地に、自家製の粒あんがぎゅっしり詰まり、思わず顔がほころぶおいしさ。創業80年、桐生の人気店です。



藤掛屋栗まんじゅう店  
住所…桐生市錦町2-5-2  
TEL…0277-45-0630  
営業時間…11:00~売切れ次第終了  
定休日…火曜

※掲載した店舗・施設は、定休日以外に臨時休業となる場合もあるので、ご了承ください。  
※一部取材先より画像をお借りしています。